

- 1 日 時 令和2年（2020年）2月14日（金）19時00分～20時10分
- 2 場 所 菅間小学校 1階 教室
- 3 出席者 公有地利活用推進課 課長、課長補佐、係員 1名
株式会社フジキン 5名
- 4 参加者 3名

5 内 容

(1) 説明内容

菅間小学校（プール）跡地利活用（案）について、別紙説明会資料を用いて説明した。

(2) 質疑・意見交換（○：市、●：参加者、△事業者）

- キャビアの原産はカスピ海だったと記憶しているが、井戸水で育つのか。高級品種はブルーガだが、どのような品種を扱うのか。
 - △カスピ海という名称だが塩湖という湖である。チョウザメは鮭のように川を遡り産卵する種類で、淡水で十分育てることが出来る。ブルーガは魚卵が大きいので高級だが、キャビアが取れるまでに15年の育成期間が必要である。チョウザメは、キャビアを取る際に腹を割いてしまうため、乱獲により絶滅危惧種となった。当社が扱うものは、7年ほどでキャビアが取れるブルーガを親に持つベステルという品種である。食肉としても日本向きの魚と考えている。
 - 災害時に井戸水を地域に還元してもらえるのはありがたい。利活用はぜひ進めてほしい。
- 養殖のチリ産サーモンなどは、ホルモン剤や抗生物質が使用されていると聞いているが、チョウザメはどうか。餌はなにを使用しているのか。市が協同するのであれば安心してよいのか。
 - △チョウザメはほとんど病気にかからない魚であり、抗生物質を使う必要のない魚である。そのためか、使用認可されている薬はない。餌はマスの飼料を使っている。飼料は安全性評価基準を満たすものであり、納品業者から安全性の証明をもらい保存している。
 - 協同事業ではないが、市からの指導が必要な場合は対応する。
 - 薬を使う必要のない魚であり、そこは安心してほしい。
- この地域にはオオタカがおりカラスは少ない。鳥獣対策やゴミの投げ入れ等の対策は。
 - △鳥獣被害対策のため、ネットで水槽を囲い込むため防げると考えている。

●借用期間に定めはあるのか。

→○規則上は建物の借用期間の上限が5年となっている。更新していくことを想定している。

△他の地域では、建設事業者がチョウザメの養殖を始めている。茨城県にもバックアップいただいている事業であり、仲間を増やしていきたい。地域の事業者等とも協力していきたいと考えている。

→●情報の開示に努めていただければ、地域密着の中で協力の輪が広がるのではないかな。

→△夏休みの見学会やタッチングプールイベント等開催したい。

→●サイエンスバスツアーに組込むことも出来れば面白い。

以 上